

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3 月 11 日

事業所名 ハピネス

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			勉強部屋や相談室など、個室も完備しています。	日々相談しながらより良い空間になるよう改善しています。
	2	職員の配置数は適切である	5	1		配置基準を満たした適切な運営ができています。	児童指導員の他に、保育士や作業療法士などの専門職も配置しているので、今後も手厚い職員配置をしていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6			事業所内には手すりがついており、大きな段差などもない。	今のところ改善点は無いと思います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			日々のミーティングだけでなく、昼食時などにもコミュニケーションを取り合えるよう心がけている。	コロナ休校期間や長期休暇の際に朝から児童がいる際にスタッフ間での共有、会議がなかなかできていない事から、児童の受け入れ前にミーティングの時間を設けたいと思います。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			保護者さまの貴重な意見を素直に受け止め、より安心して預けていただけるように工夫していく。	指摘いただいた部分はしっかりと受け入れ、スタッフミーティングにて改善をしていく。引き続きより良い事業所作りに励んでいきたいです。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			事業所のホームページに掲載し、事業所便りにて保護者へ掲載情報を提供しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6			提携会社、協力会社による定期的な評価がある。	引き続き行なっていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			社内研修や出張研修を定期的に行なっている。	コロナの影響はあるが、実施できている方だと思います。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			同法人に配置されている書類管理スタッフが定期的に研修参加し、スタッフの意向を踏まえて書類の見直し、利用者主体の計画、書類になるよう努めています。	計画相談員、保護者様、利用者様のニーズを確認し、しっかりと意思決定支援を尊重した計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6				基本的なアセスメントシートを基準として、独自のシートを活用して服薬状況などを把握しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2		定期的なミーティングを設けて、スタッフそれぞれが発案できる環境がある。	今後、より良いプログラムを作成するために会議時間をもっと設けて、細かく詰めていく必要があるかと思うので、改善していきます。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			定期的なミーティングを設けて、スタッフそれぞれが発案できる環境がある。	会議時間をもっと設けて、細かく詰めていく必要があると思います。	

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1		限られた時間内で、親と本人のニーズを反映するようプログラムを立案している。	弊社コンセプトである「感動体験での自立と成長」を常に意識して各種プログラムや支援方法を考えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		作業療法士が個別の対応をして、児童指導員で集団の対応をしている。	臨機応変に対応できているとおもいます
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2		シフトで休みのスタッフにはMTGノートを活用して共有している。	内容はきめる事ができているが、役割までは決めていなかったりと、まだまだ改善の余地があると思います。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2		その日でできるようにしているが、出来なかった場合は翌日の朝に行なっている。	“必ず”はできていませんが、気になった児童について話し合いはできています
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1		日々の記録と改善、検証を行えている。	その日のうちに記録する事ができています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			モニタリング実月を表にまとめ事務室に掲示し、月初めに共有している。	計画的、継続的に行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている				基本活動の中でも特に「社会生活や経験の範囲が制限されないようにする」事に重点を置き、障がいのない子ども以上の体験に参加できるようなプログラム作りに励んでいる。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			管理者・児発管だけでなく、同一法人の相談員に必要に応じて協力要請し一緒に参加して助言いただく等している。	今後も管理者・スタッフだけでなく法人一体となってより良い利用会議になるよう努めていく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1		送迎時などに情報の交換を行っている。	必要に応じて、会議などの場を適切に設けています。
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		6		現在、医療的ケアが必要な児童がいません。	今後、医療的ケアが必要な児童を受け入れることも考えられるので、その際にはしっかりと適切な連携、対応をしていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6			必要がある際には、情報の提供と共有を行えている。	会議などの場を適切に設けています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6			必要がある際には、情報の提供と共有を行えている。	会議などの場を適切に設けています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			定期的な研修を受けている。	今後は回数を増やしていく予定です。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6		なるべく交流があるようにしている	コロナウイルス感染拡大防止の観点から、交流がむずかしい状況があります。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2	1	が、感染拡大防止の観点から自粛している。	コロナウイルス感染拡大防止の観点から、交流がむずかしい状況があります。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			送迎時や連絡帳、メール、電話、ラインなどを活用して伝達しています。	今後も、保護者と密な連携を図ってまいります。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	5	1		家族支援、発達支援、地域支援の観点から個別支援計画書を作成している。	連絡帳などを保護者が気軽に確認できるよう、アプリの導入を検討中です。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			しっかりと説明して同意を得ている。	契約の際に説明して同意を得ている。また、契約後も要望があれば再度説明している。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			保護者を含めたイベントを開催している。(BBQやサロン等)	コロナウイルス感染拡大防止の中でも開催する事ができました。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6			交流の機会を企画したが、感染症拡大に伴い中止となった。	コロナウイルス感染拡大防止の観点から、交流がむずかしい状況があります。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			連絡帳やメール、LINE等相談できる窓口を幅広く持ち、相談があった際には対応できている。	会議の場を設けたり、必要な情報を書面で通達するなど適切に対応しています。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			毎月、事業所便りを発行している。	今後はLINEやメールをもっと活用して、より細かな情報を発信してまいります。
	35 個人情報に十分注意している	6			定期的に会議の中で周知している。	スタッフに関しては、入社時、退社時に誓約書があります。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			連絡帳やメール、LINEを活用してわかりやすく説明している。	今後も空間整備の強化を常に心がけ、安心して来所いただけるように努めてまいります。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			6	感染症拡大防止の観点から、開催できなかったが計画はしている。	コロナウイルス感染拡大防止の観点から、交流がむずかしい状況があります。
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			各種マニュアルを研修時に確認すると共に年に2回消防署の協力のもと避難訓練を実施している。	保護者の皆様と共有がいつでもできるわけではない為、避難訓練実施時は避難方法・経路図・連絡方法等を書面・ブログ等を通してお知らせしていきます。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			定期的に避難訓練を実施している。また、避難場所等を子ども達と確認し、日々の遊びの中でも確認するようにしている。	
非常時	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			コロナ禍でも、研修を開催、実施する事ができた。	外部講師等を活用しながら、定期的を実施しています。

		チェック項目	はい	どちらとも 見えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
事 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			契約書・重要事項説明書に記載し、また本人の特性を事前に個別支援会議で確認し、両親の対応等を確認している。	引き続き、利用開始時に個別支援会議を実施し、児童の特性を理解する事を心がけていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			事前に保護者から情報をもらい、おやつ提供時にはしっかりと配慮している。	アレルギーのみでなく、病院受診後は診断書等の情報をもらい、児童の健康管理に努めています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			事業所内での出来事だけでなく、送迎時の運転に関しても共有している。	事例が起きた際は職員間で再度、注意喚起と防止法について話し合っています。